

シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号	HE33013	
科目名	病原微生物学実習	
科目名 (英語)	Practice of Medical Microbiology	
授業形態	実習	
標準履修年次	3	
実施学期・曜時限等	春 AB 集中 (5月13日 - 5月31日)	
使用教室	4B112	
単位数	1.5	
担当教員名	森川一也、宮腰昌利、学類講師、非常勤講師	
実務担当者	付属病院臨床検査技師 (学類講師)、臨床検査会社の検査技師 (非常勤講師) も実習の一部に参加して指導にあたる。	
使用言語 (☑してください)	<input type="checkbox"/> 日本語 ・ <input type="checkbox"/> 英語 ・ <input checked="" type="checkbox"/> バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	なし	
オフィスアワー等	オフィスアワーは設定しない。随時 e-mail で連絡可能。	
学位プログラム・コンピテン スとの関係	汎用	
	医療	2.人間の健康と疾病の理解 3.臨床検査の知識と実践力
	国際	2.人間の健康と疾病の理解 3.臨床検査の知識と技術
授業の到達目標 (学修成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・病原細菌の種を同定できるようになる。 ・薬剤感受性を測定できるようになる。 ・真菌感染症の起原菌を検査できるようになる。 ・結核検査ができるようになる。 ・原虫、蟻虫、寄生虫卵、寄生虫生体、衛生動物の形態を判別できるようになる。 	
他の授業科目との関連	病原微生物学 微生物学実習	
履修条件	なし	
授業概要	病原微生物の取扱法・培養の条件、病原細菌の性状と同定方法および、抗生剤の効力測定方法を学び、検査材料の採取や保存方法および、細菌検査法の実際を習得する。併せて、原虫や寄生虫の検査法を修得する。	
キーワード	病原体、細菌、寄生虫、真菌、薬剤感受性	
授業計画	第一週 森川一也、他 <ul style="list-style-type: none"> ・病原細菌の分離同定検査 I ・真菌感染症の起原菌検査 	

	<p>第二週 森川一也、他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病原細菌の分離同定検査 I ・細菌毒素の検出法 ・肺結核患者の喀痰検査 <p>第三週 森川一也、他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原虫/マラリアなど標本作成・観察 ・蠕虫（線虫・吸虫・条虫）・寄生虫卵の観察 ・アニサキス
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>実習（100%）</p> <p>授業外学修法</p> <p>*実習で扱う細菌、培地、検査法などの特性、原理を教科書等を用いて関連項目を含めて学修する。</p> <p>*実験に関するレポートを作成する。</p>
単位取得要件	出席（60%以上）
成績評価方法	<p>実習態度およびレポートの評定に加えて、個別科目においては試験によって評価されることがある。</p> <p>この科目は【実習レポート（80%）、実技試験（20%）】によって評価する。</p>
教材・参考文献・配付資料等	<p>配布資料：実習書</p> <p>教科書：メディカルサイエンス微生物検査学第二版（近代出版）</p> <p>参考書：臨床検査学講座微生物学・臨床微生物学（医歯薬出版）、寄生虫鑑別アトラス（メディカルサイエンス社）</p>
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	本実習専用の白衣と上履きを準備すること。